

第7次小樽市総合計画 基本計画 改訂原案（新旧対照表）

まちづくり6つのテーマ	テーマ1 安心して子どもを産み育てることのできるまち（子ども・子育て）	施策	1-1 子ども・子育て支援
-------------	-------------------------------------	----	---------------

◆基本計画

現状と課題

現在の記載	修正後	改訂理由
<p>本市における年間出生数は減少傾向にあり、合計特殊出生率[※]は、全国、全道の平均値をとともに下回っています。少子化の進行は全国的な傾向ですが、人口減少が著しい本市においては、市民アンケートの結果や人口対策の観点からも、安心して子どもを産み育てられるよう、妊娠から出産、子育て期の切れ目のない支援が求められています。</p> <p>障がいのある子どもや医療的ケアの必要な子どもの発達を促すため、関係機関が連携し乳幼児期から18歳未満まで一貫した効果的な支援ができるような支援体制の充実も求められています。</p> <p>※「合計特殊出生率」…（略）</p> <p>共働き世帯の増加やライフスタイル、就労形態の多様化に伴い、保育のニーズも多様化しています。働きながら安心して子育てができるように、保育環境の整備が求められており、保育サービスの充実が必要となっています。また、児童生徒が放課後や長期休業中などを安全・安心に過ごし、多様な経験、活動ができるような居場所の充実も<u>必要です</u>。</p> <p>少子化や<u>核家族化の進行</u>、地域とのつながりの希薄化などにより、子どもを産み育てる家庭環境は<u>大きく変化しています</u>。子育て家庭が地域社会の中で孤立しないように、地域社会全体で子育てを支援する新しい支え合いの仕組みづくりが求められています。</p> <p>（次ページに続く）</p>	<p>本市における年間出生数は減少傾向にあり、合計特殊出生率[※]は、全国、全道の平均値をとともに下回っています。少子化の進行は全国的な傾向ですが、人口減少が著しい本市においては、市民アンケートの結果や人口対策の観点からも、安心して子どもを産み育てられるよう、妊娠から出産、子育て期の切れ目のない支援が求められています。</p> <p><u>市内で分娩を取り扱う医療機関が一か所となり、周産期医療の堅持が喫緊の課題となっています</u>。</p> <p>障がいのある子どもや医療的ケアの必要な子どもの発達を促すため、関係機関が連携し乳幼児期から18歳未満まで一貫した効果的な支援ができるような支援体制の充実も求められています。</p> <p>※「合計特殊出生率」…（略）</p> <p>共働き世帯の増加やライフスタイル、就労形態の多様化に伴い、保育のニーズも多様化しています。働きながら安心して子育てができるように、<u>デジタル技術の活用を含めた</u>保育環境の整備が求められており、保育サービスの充実が必要となっています。また、児童生徒が放課後や長期休業中などを安全・安心に過ごし、多様な経験、活動ができるような居場所の充実も<u>必要性が高まっています</u>。</p> <p>少子化や地域とのつながりの希薄化などにより、子どもを産み育てる家庭環境は<u>多様に変化しており、子育ての当事者が抱える困難や悩みが複雑化し、相談できる人が身近にいないなどの事例も見受けられます</u>。子育て家庭が地域社会の中で孤立しないように、地域社会全体で子育てを支援する新しい支え合いの仕組みづくりが<u>より一層</u>求められています。</p>	<p>周産期医療の堅持を追記</p> <p>保育環境の整備例としてデジタル技術の活用について追記</p> <p>国勢調査において市内の核家族世帯の割合は長期的にみても減少していることから、文言削除するほか、子育て当事者が抱える悩み等への相談に関する課題を追記</p>

◆基本計画

現状と課題

現在の記載	修正後	改訂理由
<p>(前ページの続き)</p> <p>育児不安やストレスから児童虐待につながる事例が<u>見受けられており</u>、関係機関と連携を図りながら、<u>保護が必要な子どもとその家族に対する支援</u>が必要となっています。</p> <p>また、子どもの発達に悩みを抱える保護者への支援や、子どもが生まれ育った環境に左右されることなく健やかに成長できるための取組が求められています。</p> <p>ひとり親家庭は、生計維持と子育ての二つの役割を一人で担わなければならず、就労や生活面で様々な課題を抱えることが少なくありません。このため、相談体制の充実や経済的負担の軽減と就労支援策の充実などが求められています。</p>	<p>育児不安やストレスから児童虐待につながる事例が<u>見受けられているほか、近年ではヤングケアラーが社会問題となっており</u>、関係機関と連携を図りながら、<u>支援を必要とする子どもとその家族への相談対応や支援</u>が必要となっています。</p> <p>また、子どもの発達に悩みを抱える保護者への支援や、子どもが生まれ育った環境に左右されることなく健やかに成長できるための取組が求められています。</p> <p>ひとり親家庭は、生計維持と子育ての二つの役割を一人で担わなければならず、就労や生活面で様々な課題を抱えることが少なくありません。このため、相談体制の充実や経済的負担の軽減と就労支援策の充実などが求められています。</p>	<p>「ヤングケアラー」について追記</p>
<p>青少年の非行や問題行動の低年齢化、<u>また</u>、インターネット利用に起因する犯罪被害など、青少年を取り巻く環境は、なお一層、複雑・多様化しています。心豊かでたくましい青少年の育成を図るため、子どもが自ら考え行動できる力を身につける学習の機会の提供や、学校、家庭、地域などと連携して、青少年を見守り育てるためのより良い環境づくりが必要となっています。積極的に青少年の育成活動や善導活動を行う人材育成といじめ、不登校で悩む子どもやしつけに悩む保護者に対する適切な助言、指導が求められています。</p>	<p>青少年の非行や問題行動の低年齢化、インターネット利用に起因する犯罪被害など、青少年を取り巻く環境は、なお一層、複雑・多様化しています。心豊かでたくましい青少年の育成を図るため、子どもが自ら考え行動できる力を身につける学習の機会の提供や、学校、家庭、地域などと連携して、青少年を見守り育てるためのより良い環境づくりが必要となっています。<u>また</u>、積極的に青少年の育成活動や善導活動を行う人材育成といじめ、<u>不登校</u>で悩む子どもやしつけに悩む保護者に対する適切な助言、指導が求められています。</p>	<p>接続詞の加除</p>
<p>このように、全ての子どもたちが、安全で安心して地域で過ごすことのできる環境の<u>充実</u>が求められています。</p>	<p>このように、全ての子どもたちが、安全で安心して地域で過ごすことのできる環境の<u>充実に向けて、子ども・若者・子育て当事者の意見を反映しながら、こども施策を一体的に推進することが</u>求められています。</p>	<p>こども大綱に基づく内容を追記</p>

小施策01 妊娠・出産・子育て支援の充実

主な取組					
<p>★<u>子育て世代包括支援センター</u>※を開設し<u>専任保健師の配置による</u>妊娠期から子育て期までの<u>切れ目のない</u>支援体制の充実（こども未来部こども家庭課）</p> <p>○子育て支援アプリの導入など子育て世代への情報提供ツールの充実（こども未来部こども家庭課）</p> <p>○周産期医療体制の維持と小児救急医療を提供する体制の確保（保健所保健総務課）</p> <p>○発達に支援が必要な子どもへの支援体制の充実（福祉保険部福祉総合相談室、こども未来部こども発達支援センター、<u>こども未来部こども家庭課</u>）</p> <p>○障がい児の療育支援体制の充実（福祉保険部福祉総合相談室）</p> <p>○子育てに関わる医療費の負担軽減（こども未来部こども福祉課）</p>					
<p>※「<u>子育て世代包括支援センター</u>」 …<u>妊娠期から子育て期までの様々なニーズに対する総合的相談支援を提供する窓口のこと。</u></p>					
指標					
<p>育児相談延べ件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値 (H30)</th> <th>目標値 (R10)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>335 件</td> <td>600 件</td> </tr> </tbody> </table>		基準値 (H30)	目標値 (R10)	335 件	600 件
基準値 (H30)	目標値 (R10)				
335 件	600 件				



修正後		改訂理由				
<p>★<u>こども家庭センター</u>※を開設し、<u>妊娠期から子育て期の全世帯を対象とした包括的な</u>支援体制の充実（こども未来部こども家庭課）</p> <p>○子育て支援アプリの導入など子育て世代への情報提供ツールの充実（こども未来部こども家庭課）</p> <p>○周産期医療体制の維持と小児救急医療を提供する体制の確保（保健所保健総務課）</p> <p>○発達に支援が必要な子どもへの支援体制の充実（福祉保険部福祉総合相談室、こども未来部こども発達支援センター、<u>こども未来部こども福祉課</u>）</p> <p>○障がい児の療育支援体制の充実（福祉保険部福祉総合相談室）</p> <p>○子育てに関わる医療費の負担軽減（こども未来部こども福祉課）</p>						
<p>※「<u>こども家庭センター</u>」 …<u>すべての妊産婦や子育て世帯、子どもを対象に、それぞれの家庭の状況に応じた相談支援を提供する窓口のこと。</u></p>						
修正後	改訂理由					
<p>育児相談延べ件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値 (H30)</th> <th>目標値 (R10)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>335 件</td> <td>1,200 件</td> </tr> </tbody> </table>	基準値 (H30)	目標値 (R10)	335 件	1,200 件	<p>計画策定以降、<u>子育て世代包括支援センターの設置(R2.9)や、R2 年度と R3 年度は母子健康手帳交付時の面接相談、R4 年度は乳幼児開放事業等における相談、R5 年度は出産子育て応援事業における伴走型相談支援が追加されるなど、相談対応の機会と共に相談件数が増加しており、目標値を大きく超える結果となっているため、直近 R5 年度の相談件数(1,144 件)を参考に目標値を修正</u></p>	
基準値 (H30)	目標値 (R10)					
335 件	1,200 件					

小施策02 保育サービスの充実

主な取組
<p>★就業形態の変化や保育ニーズの多様化に対応した、延長保育、休日保育、一時預かり、病児保育など各種保育サービスの充実（こども未来部子育て支援課）</p> <p>○規模や地域性、官民の役割など、教育・保育施設等の在り方についての総合的な検討（こども未来部子育て支援課）</p> <p>○地域性や官民の役割などを踏まえた、子どもを安心して預けられる教育・保育環境の確保（こども未来部子育て支援課）</p> <p>○入所待ち児童の解消に向けた、保育士等保育従事者確保などの取組（こども未来部子育て支援課）</p>
指標
(略)



修正後	改訂理由
<p>★就業形態の変化や保育ニーズの多様化に対応した、延長保育、休日保育、一時預かり、病児保育など各種保育サービスの充実（こども未来部子育て支援課）</p> <p>○規模や地域性、官民の役割など、教育・保育施設等の在り方についての総合的な検討（こども未来部子育て支援課）</p> <p>○地域性や官民の役割などを踏まえた、子どもを安心して預けられる教育・保育環境の確保（こども未来部子育て支援課）</p> <p><u>○デジタル技術を活用した、教育・保育施設従事者の業務負担軽減や利用者の利便性の向上（こども未来部子育て支援課）</u></p> <p>○入所待ち児童の解消に向けた、保育士等保育従事者確保などの取組（こども未来部子育て支援課）</p>	<p>AI 入所選考システムの導入による利用者への迅速な対応など、DX化による教育・保育環境の確保・充実を令和5年度より実施</p>
修正後	改訂理由
(略)	

小施策03 地域子育て支援の推進 (略)

小施策04 子どもを守る仕組みの充実

主な取組
<p>★関係機関との連携強化による相談支援体制の充実（こども未来部こども家庭課）</p> <p>★生活困窮世帯の児童に対する学習・生活支援の充実や居場所づくりの検討（福祉保険部福祉総合相談室）</p> <p>○児童虐待の予防や早期発見、早期対応（こども未来部こども家庭課）</p> <p>○子どもの貧困に関する実態把握と対策の検討（こども未来部こども福祉課）</p>
指標
(略)



修正後	改訂理由
<p>★関係機関との連携強化による相談支援体制の充実（こども未来部こども家庭課）</p> <p>★生活困窮世帯の児童に対する学習・生活支援の充実や居場所づくりの検討（福祉保険部福祉総合相談室）</p> <p>○児童虐待の予防や早期発見、早期対応（こども未来部こども家庭課）</p> <p><u>○ヤングケアラーの認知度向上、適切な理解の促進や、支援の充実（こども未来部こども家庭課）</u></p> <p>○子どもの貧困に関する実態把握と対策の検討（こども未来部こども福祉課）</p>	<p>ヤングケアラーの可能性のある児童の早期発見やヤングケアラー支援対応窓口（こども未来部こども家庭課）への連絡を円滑にするため、「小樽市ヤングケアラー連絡票」を作成。(R5.9)</p>
修正後	改訂理由
(略)	

小施策05 ひとり親家庭への支援 ~ 小施策08 子どもの基本的な人権の尊重と保護 (略)

関連計画

現在の記載	修正後	改訂理由
<ul style="list-style-type: none"> ・小樽市子ども・子育て支援事業計画（<u>平成 27～令和元年度</u>） 	<ul style="list-style-type: none"> ・小樽市子ども・子育て支援事業計画（<u>令和 2～6 年度</u>） 	新計画を策定したため
<ul style="list-style-type: none"> ・<u>市立保育所の規模・配置に関する計画</u> 	(削除)	小樽市子ども・子育て支援事業計画(令和 2～6 年度)に含まれているため
<ul style="list-style-type: none"> ・<u>小樽市健康増進計画「第 2 次健康おたる 21」(平成 25～令和 4 年度)</u> (※総合計画策定後、令和 5 年度まで延長あり) 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>小樽市健康増進・自殺対策計画 (令和 6～17 年度)</u> 	新計画を策定したため
<ul style="list-style-type: none"> ・<u>第 5 期小樽市障害福祉計画・第 1 期小樽市障害児福祉計画 (平成 30～令和 2 年度)</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>第 7 期小樽市障がい福祉計画・第 3 期小樽市障がい児福祉計画 (令和 6～8 年度)</u> 	新計画を策定したため

第7次小樽市総合計画 基本計画 改訂原案（新旧対照表）

まちづくり6つのテーマ	テーマ1 安心して子どもを生き育てることのできるまち（子ども・子育て）	施 策	1-2 学校教育
-------------	-------------------------------------	-----	----------

◆基本計画

現状と課題

現在の記載	修正後	改訂理由
(前略)	(前略)	
<p>未来を創る力の育成については、小・中学校ともに改善の傾向が見られるものの、<u>子どもたちの学力の状況は全国水準に至っていないことや、一日の家庭での学習時間が短く、スマートフォン等を利用する時間が長いなど生活習慣を改善することが課題となっています。</u>こうした課題を解決するには、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善や、学校・家庭・地域が一体となって望ましい学習習慣及び生活習慣の定着に向けた取組を進めていく必要があります。</p>	<p>未来を創る力の育成については、小・中学校ともに改善の傾向が見られるものの、「<u>全国学力・学習状況調査</u>」の平均正答率は全国を下回る状況にあることや、一日の家庭での学習時間が短く、スマートフォン等を利用する時間が長いなど生活習慣を改善することが課題となっています。こうした課題を解決するには、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善や、学校・家庭・地域が一体となって望ましい学習習慣及び生活習慣の定着に向けた取組を進めていく必要があります。</p>	<p>令和4年度全国学力・学習状況調査結果において<u>中学3年生の国語が全国水準になったが、直近の令和5年度でまた下回ったため。</u></p>
(中略)	(中略)	
<p>健やかな体の育成については、子どもたちの体力の状況は、全国平均を上回る種目が増えるなど改善の傾向が見られるものの、<u>持久力や跳躍能力等</u>が全国に比べて課題となっています。体力は、精神面をはじめあらゆる活動の基盤となるものであり、運動習慣の定着や生活習慣の改善を図る必要があります。</p>	<p>健やかな体の育成については、子どもたちの体力の状況は、全国平均を上回る種目が増えるなど改善の傾向が見られるものの、<u>持久力が</u>全国に比べて課題となっています。体力は、精神面をはじめあらゆる活動の基盤となるものであり、運動習慣の定着や生活習慣の改善を図る必要があります。</p>	<p><u>持久力は本市全体の課題となっているが、跳躍能力については、学校により状況が異なるため。</u></p>
<p>また、本市の子どもたちは、全国に比べ、朝食を毎日食べている割合が低いことや肥満傾向の割合が高いことから、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付ける食育や健康教育を推進する必要があります。</p>	<p>また、本市の子どもたちは、全国に比べ、朝食を毎日食べている割合が低いこと、<u>う歯率が高いこと</u>や肥満傾向の割合が高いことから、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付ける食育や健康教育を推進する必要があります。</p>	
(後略)	(後略)	

小施策01 未来を創る力の育成

主な取組		
(略)		
指標		
全国学力・学習状況調査の <u>児童生徒質問紙調査等</u> において国語、算数・数学が「好き」「どちらかと言えば好き」と回答した割合（対象は、小学校6年生及び中学校3年生）		
基準値（H30）		目標値（R10）
①小学校国語 69.6%	②小学校算数 68.2%	小・中学校 70.0%
③中学校国語 51.8%	④中学校数学 50.4%	



修正後		
(略)		
修正後		
全国学力・学習状況調査の <u>児童生徒質問紙調査等</u> において国語、算数・数学が「好き」「どちらかと言えば好き」と回答した割合（対象は、小学校6年生及び中学校3年生）		
基準値（H30）		目標値（R10）
①小学校国語 69.6%	②小学校算数 68.2%	小・中学校 70.0%
③中学校国語 51.8%	④中学校数学 50.4%	

小施策02 豊かな心の育成

主な取組		
(略)		
指標		
全国学力・学習状況調査の <u>児童生徒質問紙調査</u> において「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」という設問で「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合		
基準値（H30）		目標値（R10）
①小学校 60.4%	②中学校 58.2%	小・中学校 70.0%
全国学力・学習状況調査の <u>児童生徒質問紙調査</u> において「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」という設問で「当てはまる」と回答した割合		
基準値（H30）		目標値（R10）
①小学校 90.9%	②中学校 76.4%	小・中学校 100.0%



修正後		
(略)		
修正後		
全国学力・学習状況調査の <u>児童生徒質問紙調査等</u> において「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」という設問で「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合		
基準値（H30）		目標値（R10）
①小学校 60.4%	②中学校 58.2%	小・中学校 70.0%
全国学力・学習状況調査の <u>児童生徒質問紙調査等</u> において「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」という設問で「当てはまる」と回答した割合		
基準値（H30）		目標値（R10）
①小学校 90.9%	②中学校 76.4%	小・中学校 100.0%

小施策03 健やかな体の育成

～ 小施策05 学びと育ちをつなぐ学校づくりの実現 (略)

関連計画

現在の記載	修正後	改訂理由
<ul style="list-style-type: none"> ・小樽市教育推進計画（令和元～10年度） 	<ul style="list-style-type: none"> ・小樽市教育推進計画（令和元～10年度） 	
<ul style="list-style-type: none"> ・小樽市子どもの読書活動推進計画（令和元～10年度） 	<ul style="list-style-type: none"> ・小樽市子どもの読書活動推進計画（令和元～10年度） 	
<ul style="list-style-type: none"> ・小樽市立小中学校 学校規模・学校配置適正化基本計画（平成22～令和6年度） 	<ul style="list-style-type: none"> ・小樽市立小中学校 学校規模・学校配置適正化基本計画（平成22～令和6年度） 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・小樽市学校施設長寿命化計画（令和3年～12年度） 	令和3年2月策定のため